

4年に一度の 富士浅間神社祭

テンツクテンテン、屋台から逆井ばやしの笛、太鼓のにぎやかな音曲が町に流れる。続くおみこし、ヨイショヨイショ。七月十七日、逆井の富士浅間神社は四年に一度のデツカイお祭り。



逆井囃子とお神輿と

先頭は、竹に色紙を貼り付けた、華やかな万灯がわらつとに差し込まれていて、かがたれていく。お祭りに楽しそうな色を添えている。手作りだそう、一本もらうと縁起がいいという。

一行は、五香行きのバス停前で、お囃子とおかめ・きつねたちの初回のパフォーマンス。用意されたご馳走を、地区の人たちと楽しんでいた。

次は、近隣センターを左折、体育館を抜け逆井第一公園。このパフォーマンスとご馳走のひと休みが都合七か所。全部回ると五時半近い。町に繰り出すのは四年に一度になったが、五、六キロになるコースを一行について歩く人たちも多い。信仰と健康、とにかく暑い。

幟の立てられた神社では、朝のうちに、神主さんによるセレモニーが行われた。玉串奉奠と各代表の挨拶。逆井ばやしのパフォーマンス。逆井中の生徒の演奏と所作も見事だった。本職の指導で、伝統が生きていくのは心強い。

